

第5学年 国語科学習指導案

日時 平成21年10月16日(金) 5校時
児童 5学年 17名 女13名 計30名
指導者 教諭 松高 茂子

付きたい読解力	A 文章の内容を的確におさえながら要旨をとらえる力 B 事実と筆者の考えを読み分ける力 C 目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、整理して書く力
---------	--

- 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう (光村5年下)
教材名 「ニュース番組作りの現場から」
「工夫して発信しよう」

2 単元について

(1) 単元の位置づけ

【低学年の説明文】 順序を追って、正確に読む。



【中学年の説明文】 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。
『かむ』こと力・「アップとルーズで伝える」
・段落と段落がつながって、さらに大きなまとまりを作る。
・文章全体は、大きな意味のまとまりをいくつか組み立てたものである。

【高学年の説明文】 「サクラソウとトラマルハナバチ」「ニュース番組作りの現場から」
・筆者の主張は、文章の中に内包されていること。
・要旨をとらえ、自分の考えをもつ。

(2) 教材について

第5学年及び第6学年の説明的文章の読解力として、最も身に付けさせたいことは、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読みだりすること。」である。

本教材は、ニュース番組の特集の作り方を追って、ニュースが人々に伝えられるまでをまとめた説明的文章であり、文章構成は「話題提示」→「番組作りの過程」→「まとめ」となっている。特に番組作りの過程は、時間に沿って、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のあり方、伝えたい内容の絞り込み等がわかりやすく整理され、論理的に展開されている。従って、ニュース番組の作り方に関する情報提供としてだけでなく、時系列に沿って大事な事柄に注意して読み取る文章としても適している。また、この教材は番組の作り方だけでなく、ニュースを作る人々の思いや願いも読み取ることができる。そしてここで学習した内容が、第二教材「工夫して発信しよう」の情報を発信していく活動につながっていくことになる。

(3) 児童について

児童は、「サクラソウとトラマルハナバチ」で段落ごとに書かれている内容を読み取り、全体の文章構成をとらえながら要旨をまとめる学習をしてきた。一人学びでは、各段落のキーワードや中心文などを見つけ、それらを手がかりに要点をまとめる学習を進めてきたが、課題を解決するための手がかりとなる言葉を探したり、段落どうしのつながりを考えながら読みだりする力については、個人差が大きい。また、学び合いで自分の考えの根拠をあげて発表したりする力は、まだ十分に育っていない。

NR Tの結果を見ると「読むこと」の領域は全国平均並で他に比べて大きく落ちていることはないが、接続語やまとまりに注意して文章を読む力については十分ではない。また指示語の指し示している内容を理解できない誤りも多かった。授業中は、与えられた視点について考えようとする児童は多く、発表しようという意欲のある児童も増えてきている。

(4) 指導について

本単元では、「ニュース番組作りの現場から」に書かれた内容が、その後の「工夫して発信しよう」の活動のためのマニュアルにもなっていることから、実際に児童が情報発信する活動をすることを目的として意識づけたい。また、児童が情報発信のための言語活動を活発に展開できるようにするために、番組作りの過程や番組を作るうえでの大切なポイント・工夫、さらには報道やスタッフの協力や願いなども読み取らせたい。そのためにも読み取りを確実なものにするために、読みの視点を明確にし、ポイントとなる言葉に着目させたり、書く活動を取り入れたりしながら学習を進めていく。

本研究に関しては、単元全体や本時で身につけたい力を明らかにしながら授業を展開していく。また、初発の

感想や教科書へのサイドライン、ワークシートに書く活動や要点をまとめて書く活動を通して確かに読み取る力をつけていきたい。

3 単元の目標

- (1) ニュースを探して伝えることに関心をもち、伝え方や内容を工夫しようとする。
(関心・意欲・態度)
- (2) 目的や相手を意識し、書く必要のある事柄を整理して書くことができる。(書くこと イ)
集めた材料を、目的に合わせて整理し、効果的に配列しながら書くことができる。(書くこと エ)
- (3) 番組作りの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願いなどを読み取ることができる。
(読むこと ウ)
自分たちが番組を作るために必要な事柄を時間の順序に従って段落ごとに読み取ることができる。
(読むこと オ)
- (4) 文章中のキーワードや重要語句について辞書を利用して意味や使い方を調べることができる。
(言語事項)

4 単元の指導計画 (時間)

- | | | |
|-----------|--------|--------------------------------------|
| 〈一次 つかむ〉 | 1 | ・テレビのニュース番組を見た経験を話し合い、教材文を読んで感想をもつ。 |
| 〈二次 見通す〉 | 2・3 | ・おおまかな文章構成をつかみ、学習の見通しをもつ。 |
| | 4 | ・学習計画を立てる。 |
| 〈三次 深める〉 | 5 | ・「特集」を作るきっかけや願いを読み取ることができる。 |
| | 6～10 | ・事例をもとに、番組作りの各過程での大切な点や工夫している点を読み取る。 |
| | (9 本時) | |
| 〈四次 まとめる〉 | 11 | ・文章全体の要旨をまとめる。 |
| 〈五次 広げる〉 | 12～14 | ・伝えたいことの内容を考えて、取材、編集、原稿作成をする。 |
| | 15 | ・情報を発信し、受信しあう。 |
| | 16 | ・感想を交流しあう。 |

5 本時の指導

- (1) 目 標 編集や原稿を書く過程での工夫や大事なことを読み取ることができる。

本時でつきたい読解力

A 編集や原稿を書く過程での大事なことを読み取り、形式段落の要点をまとめる力。

(2) 展 開

	学習活動 (○主発問 ・学習内容)	指導上の留意点・(評価方法)
つかむ 5分	1 学習課題を確認し、見通しをもつ。 編集や原稿を書くときに大事なことをまとめよう。	・前時までの学習を想起させながら課題を提示する。 (観察)
見通す 5分	2 学習場面を音読する。(形式段落⑨⑩) (指名読み) 3 問題解決の見通しをもつ。 ○どんなことに着目して読んでいけばいいですか。	○読みの視点を与え、課題解決の見通しを持たせる。 ・誰が、何をするのか。(主語・述語) ・仕事を表す言葉 ・大事なこと、工夫していること (観察)

ふかめる 25分	<p>4 読みの視点にそって読み取る。(一人学び)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の答えとなる箇所にサイドラインを引く。 <p>○編集するときや原稿を書くときに大事なことは何でしょう。分かるところにサイドラインを引きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主語、述語については全体で確かめる。 ・仕事を表す言葉や大事なことは「工夫」であることに着目させたい。 <p>(教科書・観察)</p>
	<p>5 それぞれの過程の大事なことについて読み深める。(学び合い)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・⑨編集、⑩原稿書きについてサイドラインを引いたところを出し合う。 	<p>○話し合いの交流では、サイドラインを引いた根拠を述べながら話し合わせ、自分の考えと友達のを比べさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編集では単に短くまとめるのではなく、報道スタッフが目的や願いを持っていることもとらえさせたい。 ・原稿書きでは、一文が長い例文を聞き、その印象を発表し合い、工夫することのよさを実感させたい。 <p>(発言、観察)</p>
まとめる 10分	<p>6 課題についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題にそって各自でまとめる。 <p>○「編集するとき大事なことは」「原稿を書くときに大事なことは」という書き出しで課題のまとめを書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・板書したことをもとに、過程ごとにまとめさせる。 <p>(ワークシート)</p>
	<p>7 まとめの音読をする。</p> <p>8 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・⑪放送について学習していくことを確かめる。

(3) 具体の評価規準

A 十分満足できる	B 概ね満足できる	C 努力を要する児童への支援
編集や原稿を書く過程での大事なことを例なども加えてまとめている。 (段落の要点をまとめている)	編集や原稿を書く過程での大事なことをおさえて書いている。	大事なことやその具体的な例に着目させる。

(4) 板書

ニュース番組作りの現場から

清水 健宇

⑩原稿を書くときに大事なことは、耳で聞いて分かりやすいように工夫すること。一目で分かるように工夫すること。

⑨編集するとき大事なことは、疑問の答えが分かるようにすること。

⑩原稿書き

ディレクター 放送用原稿を書く
 大事なこと 耳で聞いて分かりやすいように
 ・結論↓理由
 ・一文を短く(主・述)

ひと目で分かるように
 ・地図や表

⑨編集

ディレクター さつえいしたものを短くする
 大事なこと 答えが分かるように
 疑問、伝えたいこと

編集や原稿を書くときに大事なことをまとめよう

誰が、何をするのか
 仕事
 大事なこと、工夫

一 教材分析表 ニュース作りの現場から」

意味 段落	形式 段落	キーワード	要点	言語事項 (難語句)	構成
1	①	デスク 多くの人の関心をよぶ話題をよぶ話題 特集	デスクは、初めて行われる富士山でのひなん訓練が多くの人の関心をよぶ話題だと考え、特集として伝えることにした。	それら ここではくみましよう (ニュース番組、特集、過程) そして くました (報道、スタッフ デスク 支局)	話題提示
2	②	ディレクター会議 二つの疑問 十六日前	十六日前、デスクは、ディレクターとアウンサーと3人で会議を開き、訓練について二つの疑問を中心に取材することを決めた。	さつそく まず (ディレクター 取材	① 企画会議
	③	ディレクター 取材 正確さ	ディレクターは取材をし、だれに聞いた話でも、正確かどうか確かめる。	(防災担当者、観光業者 噴火)	取材
	④	分かりました	ここまでの取材で、地元の住民が噴火に備えた訓練に積極的でなく、県の人たちも訓練にふみ切れなかったことが分かった。	ここまでの、また、それで このような必ずしも くのです 危機感 想定 住民感情	取材して 分かった こと
	⑤	活動中の火山 訓練の大切さ	富士山が活動中の火山であることや他の地域から訓練の大切さを学んだことから、噴火に備えた訓練をすることにした。	では また くたのです マグマ 有珠山 改めて あらかじめ	企画会議 ②
	⑥	スタッフ 中心 八日前	八日前、スタッフは取材結果をもとに、再び会議を開き、どういう内容を中心に伝えるかを確かめた。	こうした そして (取材結果)	撮影
3	⑦	さつえい 工夫	さつえいでは、目で見て分かるように工夫をこらす。	さつえい 映像 工夫	撮影
	⑧	二日前 編集 答え	ディレクターは、二つの疑問の答えが分かるように編集する。	これを その答え 前半は後半は (編集、実現 観測結果)	編集
	⑨	放送用原稿 工夫	ディレクターは、全体の構成に合わせて文章の書き方を工夫して放送用原稿を書く。	同時に さらに(放送 用原稿 結論 アナウンサー)	原稿書き
3	⑩	最も伝えたかったこと 放送	取材を重ねてきて最も伝えたかったことが放送された。	それは しかし くません (キャスター)	放送
	⑪	出発点 取材 インタビュー 選ぶ 願い	報道スタッフは、見ている人に伝えるねうちがあるとすることを運び、また、知ってほしいという願いをこめて、ニュース番組を作っている。	やがて その中から また くいるのです (報道)	まとめ

二 日常の学校生活における言語活動

- ① 物語や詩を読み、感想を交流し合うこと。
- ② 「はじめ、中、終わり、自分の考え」という、文章構成を使って文章を書くこと。
- ③ 筆者の考えに対する自分の意見を持ち、話すこと。